

対バヌアツ共和国 国別援助方針

平成 24 年 4 月

1. 援助の意義

バヌアツを含む太平洋島嶼国は、国土が広大な地域に散らばり（拡散性）、国内市場が小さく（狭隘性）、国際市場から地理的に遠い（遠隔性）など、開発上の困難を抱えている。

近年、同国は観光を中心に産業開発に努めた結果、観光客数が増加傾向にあり、順調な経済成長を続けているが、一方で経済インフラ整備の遅れが、観光業や農業などの産業の発展や経済成長に向けた海外からの投資の阻害要因となっている。

また、同国では感染症による死亡率が主要疾病の多くを占めるなど、保健医療の水準が非常に低い状態にあるとともに、急激な人口流入に伴う、都市部における廃棄物の不適切な処理による周辺環境や公衆衛生の悪化や、乱獲による沿岸漁業資源の枯渇が問題となっている。さらに、サイクロンや高潮などの気象災害や、地震・火山噴火などの自然災害も頻発しており、これらの脆弱性の克服が同国の社会・経済発展には不可欠である。

我が国との関係においては、1980 年の独立以来、国際場裏における我が国の立場や国際機関の選挙での我が国の立候補者を支持するなど、良好な二国間関係を築いているが、近年、新興ドナーの影響拡大による我が国の存在感の相対的な低下が指摘されている。同国の自立的・持続的な発展の後押しと二国間関係の強化のため、継続的な支援が重要である。

2. 援助の基本方針（大目標）：環境に配慮した持続的経済成長の達成と国民の生活水準の向上

我が国は、バヌアツの国家開発計画、1997 年から 3 年に 1 度開催している「太平洋・島サミット」における我が国の支援方針等を踏まえ、経済インフラ整備などの経済成長基盤の強化をはじめとして、基礎的な社会サービスの向上、環境保全や気候変動対策についても支援を行う。

3. 重点分野（中目標）

（1）脆弱性の克服

持続的な経済成長を達成するため、我が国は輸出・輸入産業の拡大等を目指した港湾施設への支援を中心とした経済インフラへの支援に重点を置く。また、産業の多様化、人口の約 8 割が従事する第一次産業を中心とした地方産業の活性化、予防接種率の向上や 2020 年までのフィラリア撲滅に向けた感染症対策、地方の医療を支える人材の育成による保健医療水準の向上、理数科に関する基礎学力の改善につい

ても支援を行う。

(2) 環境・気候変動

都市部における廃棄物の適切な処理による周辺環境や公衆衛生の改善、沿岸漁業資源の適切な管理のため、環境保全への支援に重点を置く。また、サイクロンや高潮などの気象災害、地震・火山噴火などの自然災害への対応能力向上のため、気候変動対策や災害対策についても支援を行う。

4. 留意事項

我が国は、主要ドナーであるオーストラリア、米国を始めとした他の援助国と積極的な意見交換を行い、援助の重複を回避するとともに、相乗効果を生むような、効果的かつ効率的な援助の実施に努める。なお、我が国は、バヌアツにおける援助協調の促進を目的とした「バヌアツ教育ロードマップに関する共同パートナーシップ連携文書」(2010年9月)及び「バヌアツ保健セクター援助協調文書」(2011年2月)への署名を行っている。

支援の実施に当たっては、同国の持続可能な経済成長のためには、社会サービスへの支出を維持しつつ、経済インフラへの支出を行うといった同国政府による公的支出管理が必要である点に留意する。

(了)

別紙： 事業展開計画